

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 02月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	ホームの周囲は民家が少ない為、非常災害時や緊急時の協力体制の確立を目指していく。	特養と合同の行事やホーム独自の行事に、家族や地域の方が参加されるので、交流を通していく中で信頼関係の構築と相互協力関係を確立し、入居者が安全で安心して地域の中で暮らせる環境を整えていく。	12ヶ月
2	15	入居者の重度化に向けた支援体制の見直し	入居者の状態が重度化する中で、職員の数を増員させるのは厳しく、サービスの質を維持していく為の介護サービスの在り方と、職員の意識改革を目指していく。	入居者と職員の関係が長くなればなる程、信頼関係が深まり、必要以上の介助をして自立支援に向けた取り組みから外れることもあり、身体の機能維持向上を目指して、入居者一人ひとりの介護サービスについて、職員間で話し合っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。